



第2回 アジア・アジアパラ競技大会に 関する懇談会

2023年4月28日（金）
愛知県・名古屋市

第1回懇談会の振り返り

第1回懇談会（2022年11月21日開催）

議題

1 アジア・アジアパラ競技大会に関する懇談会 – 新たな理念の構築に向けて –
アジア・アジアパラ競技大会の概要、東京2020大会の成果と課題について、事務局から説明。

2 意見交換

新たな理念の構築に向け、以下の観点で意見交換。

- ①国際スポーツ大会に求められているもの（時代のニーズ）とは。
- ②国際スポーツ大会の新たな事業モデルとは。
- ③国民（県民・市民）の広範な支持と参画意欲を得るために取り組むべきこととは。
- ④持続可能な社会の発展に対し、国際スポーツ大会が果たす役割とは。
- ⑤ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の観点から、国際スポーツ大会が果たす役割とは。

主な意見

① 国際スポーツ大会に求められているもの（時代のニーズ）とは。

スポーツ界にとって「クリーン」という言葉が非常に重要であり、愛知・名古屋大会にも落とし込まなければならない。（谷本委員）

② 国際スポーツ大会の新たな事業モデルとは。

新たな事業モデルを検討するにあたり、大会を社会課題の解決の契機とするムーブメントであるという視点で取り組む必要がある。（來田委員）

③ 国民（県民・市民）の広範な支持と参画意欲を得るために取り組むべきこととは。

「アジアの子どもたちの未来のために」という、アジアの人々が共有できる理念を掲げるべき。（高橋委員）
アジアの人々が共有できる、同じ方向を目指していく、そういう価値を前面に出していく理念が大事である。（鮎京委員）

④ 持続可能な社会の発展に対し、国際スポーツ大会が果たす役割とは。

スポーツ大会の成功は、地域づくりに何を残したかが評価の分かれ目となる。（奥野座長）

⑤ ダイバーシティ&インクルージョンの観点から、国際スポーツ大会が果たす役割とは。

アジア大会の後にアジアパラ大会があたりまえのように開催されることが、大きな意義がある。多様な人々、国々が存在し、そこにいる理由を問われることなく、競技している姿は共生社会のモデルとなる。（藤田委員）

大会の準備状況について

第1回懇談会での「大会運営」に係る主な意見

- **スポーツ界にとって「クリーン」という言葉が非常に重要であり、愛知・名古屋大会にも落とし込まなければならない。**（谷本委員）
- **第三者機関を置いて、きちっとモニタリングしていく体制をアジア大会がモデルとなり作る必要がある。**（來田委員）
- **利益相反に関して、常に第三者的な監査を入れるような仕組みを作っていくなど、クリーンを担保するためにシステム化することが非常に重要。**（高橋委員）
- **市民がどう受け止めているか、どのような情報を求めているかを理解し、情報の矢印の向きを両方向にすることを意識していく必要がある。**（來田委員）

マーケティング代理店の決定方法について

- **マーケティング代理店決定方法の改定**（2023年3月27日 組織委員会理事会で決議）
マーケティング専任代理店について、現下の様々な状況を踏まえ、決定方法を改定。

【主な改定内容】

- ・ 対象とする事業者について、**実績や事業規模等の要件を設定せず、広く公募**する。
- ・ 改定前は、他の大規模な国際大会と同様に、マーケティングの枠組みを専任代理店方式としていたが、**専任代理店方式に限定せず、新たな仕組みも含めて、事業者からの提案を求める。**

組織委員会のガバナンス体制の整備について

○ 背景

- ・ 昨年11月に、大規模な国際又は国内競技大会の組織委員会等のガバナンス体制や情報公開の在り方を検討するために「大規模な国際又は国内競技大会の組織委員会等のガバナンス体制等の在り方検討プロジェクトチーム」が設置された。
- ・ スポーツ庁をはじめ、弁護士や公認会計士などの有識者で構成された当該PTにおいて、3月30日に指針が策定された。

○ 今後の対応

指針の内容を踏まえ、組織委員会として必要な対応を検討し、**適切なガバナンス体制の整備を図る。**

<想定する主な対応>

- ・ コンプライアンス委員会、利益相反管理委員会等の設置
- ・ 利益相反ポリシーやスポンサー選定方針などの各種規程等の整備
- ・ コンプライアンス強化のための役職員等への研修の実施
- ・ 適切な情報開示の実施

選手村の検討状況について

○ 背景

- ・国際スポーツ大会において、多額の開催経費が問題視され、華美、過大な内容の見直しと、簡素化が求められている。
- ・また、スポーツ大会に対する世論は非常に厳しいものとなっており、企業の協賛意欲も冷え込み、愛知・名古屋大会でも、主要な財源であるスポンサー協賛金の確保が危惧される。
- ・さらに物価上昇、原材料費の高騰などで、大会の収支予算の見通しは厳しさを増している。

○ 今後の対応

- ・経費抑制のため、**メイン選手村としては整備を取りやめ、ホテル等の既存の施設を活用**することで、現在、OCAと調整中。

第2回懇談会

第1回懇談会でいただいたご意見をもとに、新たな理念を構築し、大会の機運醸成や広範な支持にどのようにつなげていくか議論していただきたい。

1 新たな理念の構築について

「“アジアの子どもたちの未来のために”という、アジアの人々が共有できる理念を掲げるべき」など、第1回懇談会でいただいた意見をもとに、新たな理念の構築について、さらに議論を深めていただきたい。

2 理念の活用・展開について

構築した理念をどのように活用・展開することで、大会の機運醸成や大会運営に反映させることができるか議論していただきたい。

また、広く県民に受け入れられる大会となるよう、社会課題（持続可能な社会やD&Iなど）の解決に向け取り組むべき事項についても議論していただきたい。

議題1 新たな理念の構築について

第1回懇談会での「新たな理念構築」に係る主な意見

- 大会理念は、ストーリーを描きやすい誰もが言える**シンプルかつ具体的なもの・シングルイシューとするのがいい**。（高橋委員）
- 「**アジアの子どもの未来のために**」という、アジアの人々が共有できる理念を掲げるべき。（高橋委員）
- **大会を社会課題の解決の契機とするムーブメントである**という視点で取り組む必要がある。（來田委員）
- アジア・アジアパラ大会は困難に挑戦し、力を出し切り、**勝敗を超えてお互いにリスペクトし合う姿を示せる貴重な機会**である。（藤田委員）
- 大会の理念については、**地域（都市・街）づくり、交流・連携、人のつながり**といったことが**キーの考え方**になると思っている。（奥野座長）
- **アジアの人々が共有できる、同じ方向を目指していく、そういう価値を前面に出していく理念**が大事である。（鮎京委員）

議題1 新たな理念の構築について

理念の方向性

- 誰もが言える**シンプルかつ具体的な大会理念**
- **アジアの人々が共有できる大会理念**
- 大会を契機に**解決すべき社会課題**（持続可能な社会やD&Iなど）を**表現する大会理念**
- **大会の価値、意義を示すことができる大会理念**
- 大会を契機として**愛知・名古屋の目指すべき姿**（地域づくり、交流・連携、人材など）**を示す大会理念**



理念（案）「アジアの子どもたちの未来のために」

議題1 新たな理念の構築について

議題1で議論していただきたいこと

新たな理念の構築について、さらに議論を深めていただき、以下の観点からご意見をいただきたい。

- ① 理念の方向性（事務局整理）について、加えるべき要素があるか。
- ② 理念（案）「アジアの子どもの未来のために」に対するご意見、ご提案はあるか。
- ③ 理念にどのようなメッセージ、意味を込めることができるのか。

第1回懇談会での「理念の活用・展開」に係る主な意見

- 理念が継続的なプラットフォームになって、様々な団体が、**この言葉で一致団結しようとするムーブメントを作らないといけない。**（高橋委員）
- **共通の価値を共有できるような仕掛け**、そういうものの一環として、愛知・名古屋大会を位置付けることができるといい。（谷委員）
- 子どもたちが参画した経験がレガシーにつながる。（谷本委員）
- 大会の開催にあたっては、**大学及び大学生の熱意を吸収していくような方策をとることが重要**である。（鮎京委員）
- **県・市のスポーツ政策と連続性も視野に入れることが必要。**（來田委員）

議題2 理念の活用・展開について

理念の活用・展開（過去大会等実績）

- ・理念を視覚化したロゴを作成し、様々な団体がロゴを使用することで、その目的の達成に向けた機運を高める。

大会	ロゴ	目的
東京2020大会		2020年以降を見据え、地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する。
RWC2019	世界一熱いラグビーを届けよう。 TRY FOR ALL AICHI・TOYOTA	地元（愛知・豊田）が一体となり、ラグビーの応援をすることで、大会の機運を高める。
—	  Kitakyushu SDGs 北九州SDGs	アートを通じてSDGsの目標を可視化し、「北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs」のレガシーを引き継ぎながら様々な団体の一体的な取組みを後押し。

議題2 理念の活用・展開について

議題2で議論していただきたいこと

構築した理念をどのように活用・展開することで、大会の機運醸成や大会運営に反映させることができるか議論していただきたい。

また、広く県民に受け入れられる大会となるよう、社会課題（持続可能な社会やダイバーシティ&インクルージョンなど）の解決に向け取り組むべき事項についても議論していただきたい。